

《 基本理念 》

いつまでも暮らしやすいまちを支える、
使いやすい持続可能な公共交通網の形成

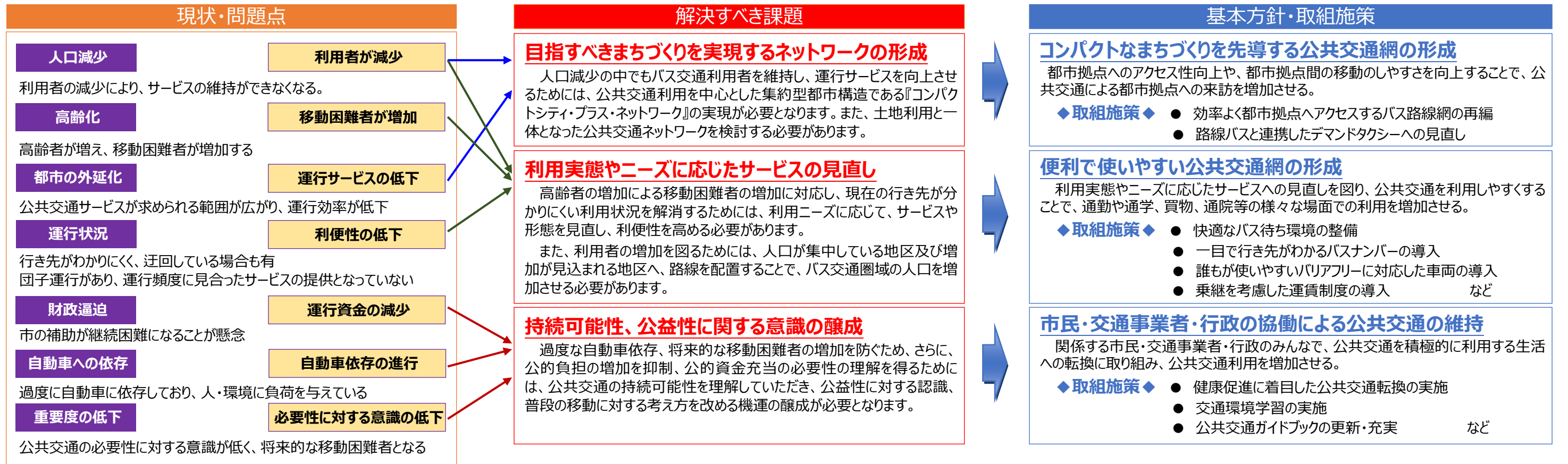
まちづくりと一体となって使いやすい公共交通網を形成し、市民・交通事業者・行政が支え合う取り組みを推進する。

計画期間：平成 30 年度から 5 年間
計画区域：新居浜市域
目的：まちづくりと連携し、将来にわたって持続可能な公共交通体系を形成する必要があり、本市が中心となって、事業者や市民と連携しながら、取り組みを進めていくため、公共交通のマスタープランとして策定する。

年間利用者数(H28 年度)	
鉄道	159 万人
路線バス	35 万人
デマンドタクシー	1.9 万人
別子山地域バス	0.65 万人
渡海船	11 万人

公共交通網形成計画とは

地域公共交通の現状・問題点、課題の整理を踏まえて、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通の在り方を、住民・交通事業者・行政が連携しながら取り組みを進める、公共交通のマスタープランとしての役割を果たすもの。



それぞれの問題点は、市民・交通事業者・行政それぞれにとって、生活（移動）、事業活動、都市経営・市民サービスの継続が困難になるような負の連鎖を形成しており、将来的に現在の公共交通サービスを維持することができない可能性があり、移動困難者を多く発生させる危険性があります。

